

**防火の誓い心新たに
令和7年登別市消防出初式**

1月7日、市消防本部、市消防団は令和7年消防出初式を市民会館で実施しました。屋外では、職員・団員75人による分列行進を実施。屋内では、西胆振鳶土工事業連合組合と西胆振若鳶会による木遣り歌・纏振り、はしご乗りが披露され、はしご乗りでは、高さ6.5mで繰り出される伝統の技に会場から大きな拍手が起きました。

式典では、小笠原市長が「市民の皆さんが安全で安心して暮らせるよう、消防力の充実・強化を図り防災・減災に力を注ぐ」と述べた式辞を受け、職員・団員は、今年1年の防火への誓いを新たにしました。

1/7



▲分列行進を披露する消防職員・団員

**若者として何事にも積極的に
令和7年登別市二十歳のつどい**

1月12日、令和7年登別市二十歳のつどい（同実行委員会、市など主催）が開かれ、会場の市民会館には、振袖やスーツなどに身を包んだ316人の若者が集まりました。

式典では、小笠原市長が「人に感謝され、また、感謝を伝えられる人になってほしい」と参加者を激励したほか、次原巧真さんと石川瑠菜さんが「可能性を秘めた若者として勇気を持って、何事にも積極的に取り組みます」と二十歳を代表し宣誓しました。

アトラクションでは、中学校時代の担任からのビデオレターが披露され、友人と懐かしく当時を振り返る様子が見られました。

1/12



▲市長に二十歳の誓いを宣誓する石川さん



▲そり滑りを楽しむ両市の児童生徒

**雪に親しみ友好を深める
泉佐野市・登別市スポーツ交流会**

12月26日、サンライバスキー場で大阪府泉佐野市と登別市の児童生徒によるスポーツ交流を実施しました。

泉佐野市とは、平成29年に互いの特産品をそれぞれの地域で広く情報発信する『特産品相互取扱協定』を締結しており、この協定をきっかけに、泉佐野市ではサンライバスキー場でのスキー研修と本市児童生徒との交流を実施しています。

この日は、泉佐野市17人と本市7人がゲレンデで、そり滑りや雪玉入れなどを楽しんだほか、ロッジでは両市の紹介や特産品交換をするなどして交友を深めていました。

12/26



▲きねが空高く舞い上がる様子を眺める観客

**華麗なきねざきが観客を魅了
元目縁起もちつき**

1月1日、泉源公園で元目縁起もちつき（登別国際観光コンベンション協会主催）が催され、新年を登別温泉で迎えた国内外の観光客や市民などが郷土芸能『子宝もちつき舞』を楽しみました。

『子宝もちつき舞』は、安産や夫婦円満などを祈願し昭和56年に誕生した郷土芸能。4人のつき手が笛や太鼓に合わせ華麗なきねを操りながら餅をつき上げ、途中、きねを空高く放ち交換する様子を見た観客からは歓声と拍手が沸き起こっていました。

また、会場では、お汁粉が振る舞われ、来場者は冷えた体を温めていました。

1/1